

令和2年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・音楽における表現技能を一人一人が体得できるよう、音楽の基礎基本の学習をした。
- ・音符、休符の学習をし、創作活動としてリズム作りを行い、リズム打ちを練習した。さらに創作を工夫しクラスリズムを作り、10小節のリズムを基本のカウントを聞きながら打とうとする生徒の姿が見られるようになった。

(2) 課題

- ・創作活動後、リズム打ちができるようになってきたので、他の音楽活動に活かせるようにさせる。
- ・音楽表現に必要な技能や知識を会得させる。
- ・音楽に親しんでいく態度を培えるよう工夫する。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

関心・意欲・態度	感受や表現の工夫	技能	鑑賞の能力
学習内容をより明確化して、何を考え、どのような表現を目指すのか、までを理解させた上で学習をすすめる。	自分なりの考えを相互に発表しあい、他者の考えに触れることで、音楽表現をさらに工夫させる。	リズム感覚や音楽表現を身に付けるとともに、様々な学習内容を音楽表現に必要な知識として認識させる。	音を形づくっている要素やその関連を知覚し雰囲気を感じながら鑑賞できるようにする。

(2) 第2学年

関心・意欲・態度	感受や表現の工夫	技能	鑑賞の能力
学習内容をより明確化して、何を考え、どのような表現を目指すのか、までを理解させた上で学習をすすめる。	自分なりの考えを相互に発表しあい、他者の考えに触れることで、音楽表現をさらに工夫させる。	リズム感覚や音楽表現を身に付けるとともに、様々な学習内容を音楽表現に必要な知識として認識させる。また、楽譜にある音楽記号を表現できるよう工夫させる。	音を形づくっている要素やその関連を知覚し雰囲気を感じながら鑑賞できるようにする。また、知覚したことと感受したことの関わりまで考えられるようにする。

(3) 第3学年

関心・意欲・態度	感受や表現の工夫	技能	鑑賞の能力
音楽における発展的な学習内容を取り入れることで、より関心を高め、学習内容をより深い所まで理解できるように意識づけさせる。	相互評価しながら音楽表現を考えるだけでなく、様々な演奏に触れることで、より深い感受と表現の工夫ができるようにする。	リズム感覚や音楽表現を身につける。また、楽譜にある音楽記号を表現できるよう考えを発表し、工夫した表現をさせる。	音を形づくっている要素やその関連を知覚し雰囲気を感じたことを、相互に発表しあい、言葉で表現できるようにする。